

大学番号：045

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

名古屋大学大学院 人文学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 名古屋大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 カチヨウ 課長・クマガイ 熊谷 カネコ 果奈子

電話番号 052-789-5758

（夜間） 同上

F A X 052-747-6500

e-mail sougoukikakusitu1@adm.nagoya-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院人文学研究科

＜人文学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. 既設大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	32
6. 附帯事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601
愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾 清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺 芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下 裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻 朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村 彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満 鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北 一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋 雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷 桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月 正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		

研究科長	(サクマ ジュンイチ) 佐久間 淳 一 (平成29年4月)	(サイトウ フミトシ) 齋 藤 文 俊 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
副研究科長	(サクライ タツヒコ) 櫻 井 龍 彦 (平成29年4月)	(ホシノ ユキヨ) 星 野 幸 代 (平成30年4月) (スギムラ ヤスシ) 杉 村 泰 (平成31年4月)	変更理由： 任期満了のため 変更年月日： 平成30年4月1日(30) 変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
副研究科長	(フルオヤ トモヒロ) 古尾谷 知 浩 (平成29年4月)	(イケウチ サトシ) 池 内 敏 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
副研究科長		(ナガハタ アキトシ) 長 畑 明 利 (平成31年4月)	変更理由：新規就任(教育研究評議会見直しのため) 変更年月日：平成31年4月1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学研究科 人文学専攻 (博士後期課程) 博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	文学関係	3年	61人	- 年次人	183人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	報告年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	61 (-) [-]		61 (-) [-]		61 (-) [-]				0.76倍	-	
志願者数	79 (-) [32]	16 (-) [8]	65 (-) [21]	13 (-) [9]	62 (-) [29]						
受験者数	76 (-) [31]	13 (-) [5]	64 (-) [22]	13 (-) [4]	60 (-) [27]						
合格者数	56 (-) [21]	7 (-) [4]	42 (-) [15]	5 (-) [4]	35 (-) [11]						
B 入学者数	53 (-) [18]	7 (-) [4]	42 (-) [15]	5 (-) [4]	34 (-) [10]						
入学定員超過率 B/A	0.98		0.77		0.55						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	53 [18] (-)	7 [4] (-)	42 [15] (-)	5 [4] (-)	34 [10] (-)	5 [4] (-)			令和元年度2年次転入学生1名〔留学生〕
2年次	/		53 [18] (-)	7 [4] (-)	43 [16] (-)	7 [4] (-)			
3年次	/				51 [16] (-)	[] ()			
計	60 [22] (-)		107 [37] (-)		140 [50] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	60人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	102人	2人	平成29年度	2人	1人	就職(2人)、[就職(1人)]
			平成30年度	0人	0人	
平成31年度	140人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			平成31年度	0人	0人	
合計		2人		2人	1人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{60} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{102} = \boxed{1.96} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{140} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文学研究科 人文学専攻(後期課程)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	言語学分野	博士論文研究 a 1-2・3前		2		3	4						
		博士論文研究 b 1-2・3後		2		3	4						
		博士論文研究 Ia 1-2・3前		2		2	1						
		博士論文研究 Ib 1-2・3後		2		2	1						
		博士論文研究 IIa 1-2・3前		2		1	1						
		博士論文研究 IIb 1-2・3後		2		1	1						
	日本語・日本文学分野	日本語学特別研究 I a 1-2・3前		2			1						
		日本語学特別研究 I b 1-2・3後		2			1						
		日本語学特別研究 II 1-2・3前		2			1						
		博士論文研究 Ia 1-2・3前		2			1						
		博士論文研究 Ib 1-2・3後		2			1						
		博士論文研究 IIa 1-2・3前		2			1						
	文芸言語学領域	英語英米文学分野	博士論文研究 IIIa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 IIIb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 IVa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 IVb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 Va 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 Vb 1-2・3後		2			1					
		英語英米文学分野	博士論文研究 VIa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 VIb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 VIIa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 VIIb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 VIIIa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 VIIIb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 IXa 1-2・3前		2				1				
			博士論文研究 IXb 1-2・3後		2				1				
			英語学特別研究 a 1-2・3前		2			2					
			英語学特別研究 b 1-2・3後		2			2					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	言語学分野	博士論文研究 a 1-2・3前		2		2	4						
		博士論文研究 b 1-2・3後		2		2	4						
		博士論文研究 Ia 1-2・3前		2		2	1						
		博士論文研究 Ib 1-2・3後		2		2	1						
		博士論文研究 IIa 1-2・3前		2		1	1						
		博士論文研究 IIb 1-2・3後		2		1	1						
	日本語・日本文学分野	日本語学特別研究 I a 1-2・3前		2			1						
		日本語学特別研究 I b 1-2・3後		2			1						
		日本語学特別研究 II 1-2・3前		2			1						
		博士論文研究 Ia 1-2・3前		2			1						
		博士論文研究 Ib 1-2・3後		2			1						
		博士論文研究 IIa 1-2・3前		2			1						
	文芸言語学領域	英語英米文学分野	博士論文研究 IIIa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 IIIb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 IVa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 IVb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 Va 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 Vb 1-2・3後		2			1					
		英語英米文学分野	博士論文研究 VIa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 VIb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 VIIa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 VIIb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 VIIIa 1-2・3前		2			1					
			博士論文研究 VIIIb 1-2・3後		2			1					
			博士論文研究 IXa 1-2・3前		2				1				
			博士論文研究 IXb 1-2・3後		2				1				
			英語学特別研究 a 1-2・3前		2			2					
			英語学特別研究 b 1-2・3後		2			2					

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	フランス語 フランス文学分野	1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
			1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
			1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
		ドイツ語 ドイツ文学分野	1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
			1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
			1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
	中国語 中国文学分野	1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	フランス語 フランス文学分野	1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
			1-2 3前	2		0	1					
			1-2 3後	2		0	1					
			1-2 3前	2		0	1					
			1-2 3後	2		0	1					
		ドイツ語 ドイツ文学分野	1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
			1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
			1-2 3前	2		1						
			1-2 3後	2		1						
	中国語 中国文学分野	1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							
		1-2 3前	2		1							
		1-2 3後	2		1							

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	博士論文研究 I a	1-2-3前	2		1							
		博士論文研究 I b	1-2-3後	2		1							
		博士論文研究 II a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 II b	1-2-3後	2			1						
		博士論文研究 III a	1-2-3前	2		1							
		博士論文研究 III b	1-2-3後	2		1							
		博士論文研究 IV a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 IV b	1-2-3後	2			1						
		博士論文研究 V a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 V b	1-2-3後	2			1						
		日本語教育総合実習 a	1-2-3前	2			1						
		日本語教育総合実習 b	1-2-3後	2			1						
		英語教育学分野	博士論文研究 I a	1-2-3前	2			1					
			博士論文研究 I b	1-2-3後	2			1					
	博士論文研究 II a		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 II b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 III a		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 III b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 IV a		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 IV b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 V a		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 V b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 VI a		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 VI b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 VII a	1-2-3前	2			1							
	博士論文研究 VII b	1-2-3後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	博士論文研究 I a	1-2-3前	2		1							
		博士論文研究 I b	1-2-3後	2		1							
		博士論文研究 II a	1-2-3前	2			1	0					
		博士論文研究 II b	1-2-3後	2			1	0					
		博士論文研究 III a	1-2-3前	2		1							
		博士論文研究 III b	1-2-3後	2		1							
		博士論文研究 IV a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 IV b	1-2-3後	2			1						
		博士論文研究 V a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 V b	1-2-3後	2			1						
		日本語教育総合実習 a (未開講)	1-2-3前	2			1						
		日本語教育総合実習 b	1-2-3後	2			1						
		英語教育学分野	博士論文研究 I a (未開講)	1-2-3前	2			1					
			博士論文研究 I b	1-2-3後	2			1					
	博士論文研究 II a (未開講)		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 II b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 III a		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 III b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 IV a		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 IV b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 V a		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 V b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 VI a (未開講)		1-2-3前	2		1							
	博士論文研究 VI b		1-2-3後	2		1							
	博士論文研究 VII a	1-2-3前	2			1							
	博士論文研究 VII b	1-2-3後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	博士論文研究 I a	1-2-3前	2		1							
		博士論文研究 I b	1-2-3後	2		1							
		博士論文研究 II a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 II b	1-2-3後	2			1						
		博士論文研究 III a	1-2-3前	2				1					
		博士論文研究 III b	1-2-3後	2				1					
		博士論文研究 IV a	1-2-3前	2		1							
		博士論文研究 IV b	1-2-3後	2		1							
		博士論文研究 V a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 V b	1-2-3後	2			1						
		博士論文研究 VI a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 VI b	1-2-3後	2			1						
		博士論文研究 VII a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 VII b	1-2-3後	2			1						
	博士論文研究 VIII	1-2-3後	2			1							
	哲学倫理学領域	哲学分野	博士論文研究 a	1-2-3前	2		2	2					
			博士論文研究 b	1-2-3後	2		2	2					
			哲学・倫理学総合演習 I	1-2-3前	2		2	2					
			哲学・倫理学総合演習 II	1-2-3後	2		2	2					
		西洋古典学分野	博士論文研究 a	1-2-3前	2			1					
			博士論文研究 b	1-2-3後	2			1					
			西洋古典学総合演習	1-2-3前	2			1					
			中国哲学分野	博士論文研究 a	1-2-3前	2		1					
			博士論文研究 b	1-2-3後	2		1						
		インド哲学分野	博士論文研究 I	1-2-3前	2		1						
			博士論文研究 II	1-2-3後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	博士論文研究 I a	1-2-3前	2		1							
		博士論文研究 I b	1-2-3後	2		1							
		博士論文研究 II a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 II b	1-2-3後	2			1						
		博士論文研究 III a	1-2-3前	2				1	0				
		博士論文研究 III b	1-2-3後	2				1	0				
		博士論文研究 IV a(未開講)	1-2-3前	2		1							
		博士論文研究 IV b(未開講)	1-2-3後	2		1							
		博士論文研究 V a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 V b	1-2-3後	2			1						
		博士論文研究 VI a(未開講)	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 VI b	1-2-3後	2			1						
		博士論文研究 VII a	1-2-3前	2			1						
		博士論文研究 VII b	1-2-3後	2			1						
	博士論文研究 VIII	1-2-3後	2			1							
	哲学倫理学領域	哲学分野	博士論文研究 a	1-2-3前	2		2	2					
			博士論文研究 b	1-2-3後	2		2	2					
			哲学・倫理学総合演習 I	1-2-3前	2		1	1					
			哲学・倫理学総合演習 II	1-2-3後	2		1	1					
		西洋古典学分野	博士論文研究 a	1-2-3前	2			1					
			博士論文研究 b	1-2-3後	2			1					
			西洋古典学総合演習	1-2-3前	2			1					
			中国哲学分野	博士論文研究 a(未開講)	1-2-3前	2		1					
			博士論文研究 b	1-2-3後	2		1						
		インド哲学分野	博士論文研究 I	1-2-3前	2		1						
			博士論文研究 II	1-2-3後	2		0	1					

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	歴史文化系 総合化学領域	日本文化学分野	博士論文研究 a	1・2・3前	2		3	1						
			博士論文研究 b	1・2・3後	2		3	1						
		文化動態学分野	博士論文研究 Ia	1・2・3前	2		1							
			博士論文研究 Ib	1・2・3後	2		1							
			博士論文研究 Ia	1・2・3前	2		1							
			博士論文研究 Ib	1・2・3後	2		1							
			博士論文研究 IIIa	1・2・3前	2			1						
			博士論文研究 IIIb	1・2・3後	2			1						
			博士論文研究 IVa	1・2・3前	2			1						
			博士論文研究 IVb	1・2・3後	2			1						
			博士論文研究 Va	1・2・3前	2			1						
			博士論文研究 Vb	1・2・3後	2			1						
		ジェンダー学分野	博士論文研究 VIa	1・2・3前	2			1						
			博士論文研究 VIb	1・2・3後	2			1						
			博士論文研究 Ia	1・2・3前	2		2							
			博士論文研究 Ib	1・2・3後	2		2							
			博士論文研究 IIa	1・2・3前	2			2						
			博士論文研究 IIb	1・2・3後	2			2						
		合計(167科目)			-			64	45	1	7	0		
		卒業要件及び履修方法												
		後期課程に原則として3年間在学し、「博士論文研究」を原則として毎学期2単位ずつ合計12単位以上を取得し、研究指導を受けた上、課程博士學位論文の審査及び試験に合格すること。												

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	歴史文化系 総合化学領域	日本文化学分野	博士論文研究 a	1・2・3前	2		3	1						
			博士論文研究 b	1・2・3後	2		3	1						
		文化動態学分野	博士論文研究 Ia(未開講)	1・2・3前	2		0	1						
			博士論文研究 Ib(未開講)	1・2・3後	2		0	1						
			博士論文研究 Ia	1・2・3前	2		1							
			博士論文研究 Ib	1・2・3後	2		1							
			博士論文研究 IIIa	1・2・3前	2			1						
			博士論文研究 IIIb	1・2・3後	2			1						
			博士論文研究 IVa	1・2・3前	2			1						
			博士論文研究 IVb	1・2・3後	2			1						
			博士論文研究 Va	1・2・3前	2			1						
			博士論文研究 Vb	1・2・3後	2			1						
		ジェンダー学分野	博士論文研究 VIa	1・2・3前	2			1						
			博士論文研究 VIb	1・2・3後	2			1						
			博士論文研究 Ia	1・2・3前	2		2							
			博士論文研究 Ib	1・2・3後	2		2							
			博士論文研究 IIa	1・2・3前	2			1						
			博士論文研究 IIb	1・2・3後	2			1						
		合計(167科目)			-			53	47	0	6	0		
		卒業要件及び履修方法												
		後期課程に原則として3年間在学し、「博士論文研究」を原則として毎学期2単位ずつ合計12単位以上を取得し、研究指導を受けた上、課程博士學位論文の審査及び試験に合格すること。												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 言語文化系 文芸言語学領域	言語学分野	博士論文研究a	1・2・3前	2		2	4					
		博士論文研究b	1・2・3後	2		2	4					
	日本語日本文学分野	博士論文研究Ia(未開講)	1・2・3前	2		2	1					
		博士論文研究Ib	1・2・3後	2		2	1					
		博士論文研究IIa	1・2・3前	2		1	1					
		博士論文研究IIb	1・2・3後	2		1	1					
		日本語学特別研究Ia(未開講)	1・2・3前	2		1						
		日本語学特別研究Ib(未開講)	1・2・3後	2		1						
		日本語学特別研究II(未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究Ia(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究Ib	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究IIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
	博士論文研究IIb(未開講)	1・2・3後	2		1							
	英語英米文学分野	博士論文研究IIIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究IIIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究IVa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究IVb(未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究Va(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究Vb(未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究VIa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究VIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究VIIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究VIIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究VIIIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究VIIIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究IXa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究IXb	1・2・3後	2		1						
		英語学特別研究a(未開講)	1・2・3前	2		2						
		英語学特別研究b	1・2・3後	2		2						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 言語文化系 文芸言語学領域	言語学分野	博士論文研究a	1・2・3前	2		2	4					
		博士論文研究b	1・2・3後	2		2	4					
	日本語日本文学分野	博士論文研究Ia	1・2・3前	2		2	1					
		博士論文研究Ib	1・2・3後	2		2	1					
		博士論文研究IIa	1・2・3前	2		1	1					
		博士論文研究IIb	1・2・3後	2		1	1					
		日本語学特別研究Ia(未開講)	1・2・3前	2		1						
		日本語学特別研究Ib(未開講)	1・2・3後	2		1						
		日本語学特別研究II(未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究Ia	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究Ib	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究IIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
	博士論文研究IIb(未開講)	1・2・3後	2		1							
	英語英米文学分野	博士論文研究IIIa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究IIIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究IVa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究IVb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究Va	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究Vb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究VIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究VIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究VIIa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究VIIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究VIIIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究VIIIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究IXa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究IXb	1・2・3後	2		1						
		英語学特別研究a	1・2・3前	2		2						
		英語学特別研究b	1・2・3後	2		2						

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 言語文化系 文芸言語学領域	フランス語フランス文学分野	博士論文研究 I a (未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 I b	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 II a	1・2・3前	2		1	1					
		博士論文研究 II b	1・2・3後	2		1	1					
		博士論文研究 III a	1・2・3前	2		1	0					
		博士論文研究 III b	1・2・3後	2		1	0					
		博士論文研究 IV a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 IV b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 V a (未開講)	1・2・3前	2								
	ドイツ語ドイツ文学分野	博士論文研究 I a (未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 I b (未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 II a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 II b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 III a (未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 III b (未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IV a (未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IV b (未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 VI (未開講)	1・2・3後	2			1					
	中国語中国文学分野	博士論文研究 I a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 I b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 II a	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 II b	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 III a	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 III b	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 IV a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 IV b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 V a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 V b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 VI a	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 VI b	1・2・3後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 言語文化系 文芸言語学領域	フランス語フランス文学分野	博士論文研究 I a	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 I b	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 II a	1・2・3前	2		1	1					
		博士論文研究 II b	1・2・3後	2		1	1					
		博士論文研究 III a (未開講)	1・2・3前	2		1	0					
		博士論文研究 III b (未開講)	1・2・3後	2		1	0					
		博士論文研究 IV a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 IV b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 V a (未開講)	1・2・3前	2								
	ドイツ語ドイツ文学分野	博士論文研究 I a	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 I b	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 II a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 II b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 III a (未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 III b (未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IV a (未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IV b (未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 VI (未開講)	1・2・3後	2			1					
	中国語中国文学分野	博士論文研究 I a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 I b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 II a	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 II b	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 III a	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 III b	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 IV a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 IV b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 V a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 V b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 VI a	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 VI b	1・2・3後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	博士論文研究 I a	1・2・3前	2		1							
		博士論文研究 I b	1・2・3後	2		1							
		博士論文研究 II a	1・2・3前	2			1						
		博士論文研究 II b	1・2・3後	2			1						
		博士論文研究 III a	1・2・3前	2		1							
		博士論文研究 III b	1・2・3後	2		1							
		博士論文研究 IV a(未開講)	1・2・3前	2			1						
		博士論文研究 IV b(未開講)	1・2・3後	2			1						
		博士論文研究 V a(未開講)	1・2・3前	2			1						
		博士論文研究 V b(未開講)	1・2・3後	2			1						
		日本語教育総合実習 a	1・2・3前	2			1						
		日本語教育総合実習 b(未開講)	1・2・3後	2			1						
		英語教育学分野	博士論文研究 I a(未開講)	1・2・3前	2			1					
			博士論文研究 I b(未開講)	1・2・3後	2			1					
	博士論文研究 II a(未開講)		1・2・3前	2		1							
	博士論文研究 II b(未開講)		1・2・3後	2		1							
	博士論文研究 III a(未開講)		1・2・3前	2			1						
	博士論文研究 III b(未開講)		1・2・3後	2			1						
	博士論文研究 IV a		1・2・3前	2			1						
	博士論文研究 IV b		1・2・3後	2			1						
	博士論文研究 V a(未開講)		1・2・3前	2			1						
	博士論文研究 V b(未開講)		1・2・3後	2			1						
	博士論文研究 VI a(未開講)		1・2・3前	2			1						
	博士論文研究 VI b(未開講)		1・2・3後	2			1						
	博士論文研究 VII a(未開講)	1・2・3前	2			1							
	博士論文研究 VII b	1・2・3後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	博士論文研究 I a	1・2・3前	2		1							
		博士論文研究 I b	1・2・3後	2		1							
		博士論文研究 II a	1・2・3前	2			1						
		博士論文研究 II b	1・2・3後	2			1						
		博士論文研究 III a	1・2・3前	2		1							
		博士論文研究 III b	1・2・3後	2		1							
		博士論文研究 IV a	1・2・3前	2			1						
		博士論文研究 IV b	1・2・3後	2			1						
		博士論文研究 V a	1・2・3前	2			1						
		博士論文研究 V b	1・2・3後	2			1						
		日本語教育総合実習 a(未開講)	1・2・3前	2			1						
		日本語教育総合実習 b(未開講)	1・2・3後	2			1						
		英語教育学分野	博士論文研究 I a(未開講)	1・2・3前	2			1					
			博士論文研究 I b(未開講)	1・2・3後	2			1					
	博士論文研究 II a(未開講)		1・2・3前	2		1							
	博士論文研究 II b(未開講)		1・2・3後	2		1							
	博士論文研究 III a		1・2・3前	2			1						
	博士論文研究 III b		1・2・3後	2			1						
	博士論文研究 IV a		1・2・3前	2			1						
	博士論文研究 IV b(未開講)		1・2・3後	2			1						
	博士論文研究 V a		1・2・3前	2			1						
	博士論文研究 V b		1・2・3後	2			1						
	博士論文研究 VI a(未開講)		1・2・3前	2			1						
	博士論文研究 VI b		1・2・3後	2			1						
	博士論文研究 VII a	1・2・3前	2			1							
	博士論文研究 VII b	1・2・3後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	博士論文研究 I a	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 I b	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 II a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 II b	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 III a	1・2・3前	2				1				
		博士論文研究 III b	1・2・3後	2					1			
		博士論文研究 IV a	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IV b	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 V a	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 V b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 VI a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 VI b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 VII a	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 VII b (未開講)	1・2・3後	2			1					
	博士論文研究 VIII (未開講)	1・2・3後	2			1						
	哲学倫理学領域	博士論文研究 a	1・2・3前	2		3	1					
		博士論文研究 b	1・2・3後	2		3	1					
		哲学倫理学総合演習 I	1・2・3前	2		2	0					
		哲学倫理学総合演習 II	1・2・3後	2		2	0					
		博士論文研究 a	1・2・3前	2			1					
博士論文研究 b		1・2・3後	2			1						
西洋古典学総合演習		1・2・3通	2			1						
中国哲学分野		博士論文研究 a (未開講)	1・2・3前	2		2						
	博士論文研究 b (未開講)	1・2・3後	2		2							
インド哲学分野	博士論文研究 I	1・2・3前	2		1							
	博士論文研究 II (未開講)	1・2・3後	2		1	0						

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	言語文化系 文芸言語学領域	博士論文研究 I a (未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 I b (未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 II a	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 II b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 III a	1・2・3前	2				1	0			
		博士論文研究 III b	1・2・3後	2					1	0		
		博士論文研究 IV a	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IV b	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 V a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 V b (未開講)	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 VI a	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 VI b	1・2・3後	2			1					
		博士論文研究 VII a (未開講)	1・2・3前	2			1					
		博士論文研究 VII b (未開講)	1・2・3後	2			1					
	博士論文研究 VIII (未開講)	1・2・3後	2			1						
	哲学倫理学領域	博士論文研究 a	1・2・3前	2		2	2					
		博士論文研究 b	1・2・3後	2		2	2					
		哲学倫理学総合演習 I	1・2・3前	2		1	1					
		哲学倫理学総合演習 II	1・2・3後	2		1	1					
		博士論文研究 a	1・2・3前	2			1					
博士論文研究 b		1・2・3後	2			1						
西洋古典学総合演習		1・2・3通	2			1						
中国哲学分野		博士論文研究 a (未開講)	1・2・3前	2		1						
	博士論文研究 b (未開講)	1・2・3後	2		1							
インド哲学分野	博士論文研究 I	1・2・3前	2		1							
	博士論文研究 II	1・2・3後	2		0	1						

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	日本化学分野	博士論文研究 a	1・2・3前	2		3	1					
		博士論文研究 b	1・2・3後	2		3	1					
	文化動態学分野	博士論文研究 Ia	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 Ib	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IIb(未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IIIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IIIb(未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IVa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IVb(未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 Va(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 Vb(未開講)	1・2・3後	2		1						
	ジェンダー学分野	博士論文研究 Ia	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 Ib	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IIa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IIIa(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IIIb(未開講)	1・2・3後	2		1						
	合計(167科目)			-		60	44	1	7	0		
	卒業要件及び履修方法											
後期課程に原則として3年間在学し、「博士論文研究」を原則として每学期2単位ずつ合計12単位以上を取得し、研究指導を受けた上、課程博士學位論文の審査及び試験に合格すること。												

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	日本化学分野	博士論文研究 a	1・2・3前	2		3	1					
		博士論文研究 b	1・2・3後	2		3	1					
	文化動態学分野	博士論文研究 Ia(未開講)	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 Ib(未開講)	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IIa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IIIa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IIIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IVa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IVb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 Va	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 Vb	1・2・3後	2		1						
	ジェンダー学分野	博士論文研究 Ia	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 Ib	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IIa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IIb	1・2・3後	2		1						
		博士論文研究 IIIa	1・2・3前	2		1						
		博士論文研究 IIIb	1・2・3後	2		1						
	合計(167科目)			-		55	47	0	6	0		
	卒業要件及び履修方法											
後期課程に原則として3年間在学し、「博士論文研究」を原則として每学期2単位ずつ合計12単位以上を取得し、研究指導を受けた上、課程博士學位論文の審査及び試験に合格すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・言語学分野「博士論文研究a」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授3・准教授4」から「教授2・准教授4」に変更。
- ・言語学分野「博士論文研究b」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授3・准教授4」から「教授2・准教授4」に変更。
- ・「日本語学特殊研究Ⅱ」はカリキュラム調整のため開講期を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・フランス語フランス文学分野「博士論文研究Ⅱa」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・フランス語フランス文学分野「博士論文研究Ⅱb」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・フランス語フランス文学分野「博士論文研究Ⅲa」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・フランス語フランス文学分野「博士論文研究Ⅲb」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・哲学分野「博士論文研究a」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授3・准教授1」に変更。
- ・哲学分野「博士論文研究b」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授3・准教授1」に変更。
- ・「哲学・倫理学総合演習Ⅰ」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授2」に変更。
- ・「哲学・倫理学総合演習Ⅱ」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授2」に変更。
- ・「西洋古典学総合演習」はカリキュラム調整のため開講期を「1・2・3前」から「1・2・3通」に変更。
- ・中国哲学分野「博士論文研究a」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・中国哲学分野「博士論文研究b」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・インド哲学分野「博士論文研究Ⅱ」は担当者退職のため専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・日本史学分野「博士論文研究a」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授4」に変更。
- ・日本史学分野「博士論文研究b」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授4」に変更。
- ・「日本史学特別研究Ⅱa」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「日本史学特別研究Ⅱb」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「日本史学特別研究Ⅳa」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「日本史学特別研究Ⅳb」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・西洋史学分野「博士論文研究a」は担当者職位変更、担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授3・准教授2」から「教授4」に変更。
- ・西洋史学分野「博士論文研究b」は担当者職位変更、担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授3・准教授2」から「教授4」に変更。
- ・文化人類学分野「博士論文研究Ⅱb」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・文化人類学分野「博士論文研究Ⅳa」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・文化人類学分野「博士論文研究Ⅳb」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「比較人類学総合演習」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・映像学分野「博士論文研究a」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授2」に変更。
- ・映像学分野「博士論文研究b」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授2」に変更。
- ・「映像理論と実践Ⅰ」はカリキュラム調整のため開講期を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・「映像理論と実践Ⅱ」はカリキュラム調整のため開講期を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・「映像文化論Ⅱ」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ジェンダー学分野「博士論文研究Ⅰa」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・ジェンダー学分野「博士論文研究Ⅰb」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・ジェンダー学分野「博士論文研究Ⅱa」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・ジェンダー学分野「博士論文研究Ⅱb」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。

【平成30年度】

- ・応用日本語学分野「博士論文研究Ⅲa」は担当者職位変更のため、専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・応用日本語学分野「博士論文研究Ⅲb」は担当者職位変更のため、専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・哲学分野「博士論文研究a」は担当教員変更のため専任教員等の配置を「教授3・准教授1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・哲学分野「博士論文研究b」は担当教員変更のため専任教員等の配置を「教授3・准教授1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・「哲学・倫理学総合演習Ⅰ」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・「哲学・倫理学総合演習Ⅱ」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授2」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・中国哲学分野「博士論文研究a」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・中国哲学分野「博士論文研究b」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・インド哲学分野「博士論文研究Ⅱ」は担当教員変更のため専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・日本史学分野「博士論文研究a」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・日本史学分野「博士論文研究b」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・日本史学分野「日本史学特別研究Ⅳb」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・西洋史学分野「博士論文研究a」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授4」から「教授4・准教授1」に変更。
- ・西洋史学分野「博士論文研究b」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授4」から「教授4・准教授1」に変更。
- ・文化人類学分野「博士論文研究Ⅱa」は担当教員変更のため、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・フランス語フランス文学分野「博士論文研究Ⅱa」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・フランス語フランス文学分野「博士論文研究Ⅱb」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・フランス語フランス文学分野「博士論文研究Ⅲa」は担当教員変更のため専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・フランス語フランス文学分野「博士論文研究Ⅲb」は担当教員変更のため専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・中国語中国文学分野「博士論文研究Ⅵa」は担当者退職のため専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・中国語中国文学分野「博士論文研究Ⅵb」は担当者退職のため専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・日本語教育学分野「博士論文研究Ⅱa」は担当者職位変更のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・日本語教育学分野「博士論文研究Ⅱb」は担当者職位変更のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・日本史学分野「博士論文研究a」は教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授3」から「教授3・准教授1」に変更。
- ・日本史学分野「博士論文研究b」は教育内容充実のため、専任教員等の配置を「教授3」から「教授3・准教授1」に変更。
- ・日本史学分野「日本史学特別研究Ⅳa」は担当教員変更のため専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・東洋史学分野「博士論文研究a」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・東洋史学分野「博士論文研究b」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・文化人類学分野「博士論文研究Ⅲa」は担当者職位変更のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・文化人類学分野「博士論文研究Ⅲb」は担当者職位変更のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・文化人類学分野「博士論文研究Ⅳa」は担当者職位変更のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・文化人類学分野「博士論文研究Ⅳb」は担当者職位変更のため、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・文化人類学分野「比較人類学総合演習」は担当者退職及び担当者職位変更のため、専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・文化動態学分野「博士論文研究Ⅰa」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・文化動態学分野「博士論文研究Ⅰb」は担当者退職のため専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ジェンダー学分野「博士論文研究Ⅰa」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・ジェンダー学分野「博士論文研究Ⅰb」は教育内容充実のため専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	167 科目	0 科目	167 科目	0 科目 [0]	167 科目 [0]	0 科目 [0]	167 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{167} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改 修、解体）に伴う、面 積・室数の増減のため (元)				
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡						
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡						
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡						
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡						
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡						
(2) 校 舎	専 用	590,883 578,743 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	590,883 578,743 ㎡	大学全体					
	(590,883 578,743 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(590,883 578,743 ㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	252 234 室	演 習 室	232 240 室	実験実習室	1,680 1,326 室	情報処理学習施設	16 17 室 (補助職員 1 人)	語学学習施設	14 室 (補助職員 0 人)	大学全体
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	人文学研究科 人文学専攻				134 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]	点	点	点
		冊	種		点	点	点				
		人文学研究科 人文学専攻	596,741 [252,195]	(5,365 [1,972])	(0 [0]) -(82 [-82])	5,807 (5,639) -(5,619) (5,756)	45 43 (46) (45) (43)	0 (0) (0)	図書、学術雑誌、視聴覚 資料については、購入及 び蔵書整理・除却による もの(元) 機械・器具については購 入及び廃棄によるもの (元)		
計	596,741 [252,195]	(5,365 [1,972])	(0 [0]) -(82 [-82])	5,807 (5,639) -(5,619) (5,756)	45 43 (46) (45) (43)	0 (0)					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊		大学全体				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	9,229 ㎡		弓道場、フール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、 テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習 場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か 所)								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — —	7,979						
	年	人	年次	人		倍				
文学研究科								昭和28年度		
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度		
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学) 修士(学術)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度		
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度		
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法学) 修士(現代法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度		
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度		
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学) 博士(学術)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(情報学) 博士(情報学)	0.66					
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学)	0.73	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	修士(情報学) 博士(情報学)	0.99					
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	修士(情報学) 博士(情報学)	0.55					
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学)	1.24	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	修士(情報学) 博士(情報学)	0.83					
理学研究科								昭和28年度			
<u>素粒子宇宙物理学専攻</u> (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
<u>物質理学専攻</u> (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
<u>生命理学専攻</u> (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
<u>総合医学専攻</u> (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12					
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始		
<u>医科学専攻</u> (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
<u>医療行政コース</u>	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
看護学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
<u>(博士前期課程)</u>	2	18	—	36	修士(看護学)	—					
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
リハビリテーション療法学専攻										
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変)	愛知県名古屋市中 種区不老町1	

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物圏資源学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成11年度		平成30年度より学生募集停止
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
<u>森林・資材科学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u> <u>(博士後期課程)</u>	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
<u>植物生産科学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u> <u>(博士後期課程)</u>	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
<u>動物科学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u> <u>(博士後期課程)</u>	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
<u>応用生命科学専攻</u> <u>(博士前期課程)</u> <u>(博士後期課程)</u>	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
<u>名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻</u> <u>(博士後期課程)</u>	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
<u>名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学専攻</u> <u>(博士後期課程)</u>	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
<u>国際開発研究科</u> 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
<u>国際開発協力専攻</u> <u>(博士前期課程)</u> <u>(博士後期課程)</u>	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
					博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
					修士(建築学)					
					博士(環境学)					
					博士(工学)					
					博士(建築学)					
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学)	0.48				
					修士(地理学)					
					修士(法学)					
					修士(経済学)					
					博士(環境学)					
					博士(社会学)					
					博士(地理学)					
					博士(法学)					
					博士(経済学)					
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学研究科 人文学専攻（後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐久間 淳一 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	堀江 薫 <平成29年4月> Ph. D. (米) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	町田 健 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	釘貫 亨 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究1a 博士論文研究1b
専	教授	齋藤 文俊 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究1a 博士論文研究1b 日本語学特別研究1a 日本語学特別研究1b
専	教授	塩村 耕 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究IIa 博士論文研究IIb
専	教授	大室 剛志 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究1a 博士論文研究1b 英語学特別研究a 英語学特別研究b
専	教授	田中 智之 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究IIIa 博士論文研究IIIb 英語学特別研究a 英語学特別研究b
専	教授	大名 力 <平成29年4月> 教育学修士 博士論文研究IIa 博士論文研究IIb
専	教授	滝川 睦 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究VIa 博士論文研究VIb
専	教授	長畑 明利 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究VIIa 博士論文研究VIIb
専	教授	松岡 光治 <平成29年4月> MASTER OF PHILOSOPHY (英) 博士論文研究Va 博士論文研究Vb

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐久間 淳一 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	堀江 薫 <平成29年4月> Ph. D. (米) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	釘貫 亨 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究1a 博士論文研究1b
専	教授	齋藤 文俊 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究1a 博士論文研究1b 日本語学特別研究1a 日本語学特別研究1b
専	教授	塩村 耕 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究IIa 博士論文研究IIb
専	教授	大室 剛志 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究1a 博士論文研究1b 英語学特別研究a 英語学特別研究b
専	教授	田中 智之 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究IIIa 博士論文研究IIIb 英語学特別研究a 英語学特別研究b
専	教授	大名 力 <平成29年4月> 教育学修士 博士論文研究IIa 博士論文研究IIb
専	教授	滝川 睦 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究VIa 博士論文研究VIb
専	教授	長畑 明利 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究VIIa 博士論文研究VIIb
専	教授	松岡 光治 <平成29年4月> MASTER OF PHILOSOPHY (英) 博士論文研究Va 博士論文研究Vb

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐久間 淳一 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	堀江 薫 <平成29年4月> Ph. D. (米) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	釘貫 亨 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究1a 博士論文研究1b
専	教授	齋藤 文俊 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究1a 博士論文研究1b 日本語学特別研究1a 日本語学特別研究1b
専	教授	塩村 耕 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究IIa 博士論文研究IIb
専	教授	大室 剛志 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究1a 博士論文研究1b 英語学特別研究a 英語学特別研究b
専	教授	田中 智之 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究IIIa 博士論文研究IIIb 英語学特別研究a 英語学特別研究b
専	教授	大名 力 <平成29年4月> 教育学修士 博士論文研究IIa 博士論文研究IIb
専	教授	滝川 睦 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究VIa 博士論文研究VIb
専	教授	長畑 明利 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究VIIa 博士論文研究VIIb
専	教授	松岡 光治 <平成29年4月> MASTER OF PHILOSOPHY (英) 博士論文研究Va 博士論文研究Vb

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐久間 淳一 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	堀江 薫 <平成29年4月> Ph. D. (米) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	釘貫 亨 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究1a 博士論文研究1b
専	教授	齋藤 文俊 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究1a 博士論文研究1b 日本語学特別研究1a 日本語学特別研究1b
専	教授	塩村 耕 <平成29年4月> 博士(文学) 博士論文研究IIa 博士論文研究IIb
専	教授	大室 剛志 (62) 文学修士 博士論文研究1a 博士論文研究1b 英語学特別研究a 英語学特別研究b
専	教授	田中 智之 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究IIIa 博士論文研究IIIb 英語学特別研究a 英語学特別研究b
専	教授	大名 力 <平成29年4月> 教育学修士 博士論文研究IIa 博士論文研究IIb
専	教授	滝川 睦 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究VIa 博士論文研究VIb
専	教授	長畑 明利 <平成29年4月> 文学修士 博士論文研究VIIa 博士論文研究VIIb
専	教授	松岡 光治 <平成29年4月> MASTER OF PHILOSOPHY (英) 博士論文研究Va 博士論文研究Vb

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	林 誠 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (米) 博士論文研究Ⅱa 博士論文研究Ⅱb
専	准教授	村尾 玲美 ＜平成29年4月＞ 博士(学術) 博士論文研究Ⅰa 博士論文研究Ⅰb
専	准教授	三輪 晃司 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (加) 博士論文研究Ⅶa 博士論文研究Ⅶb
専	准教授	石崎 俊子 ＜平成29年4月＞ 修士(教育学) 博士論文研究Ⅵa 博士論文研究Ⅵb
専	准教授	李 澤熊 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 博士論文研究Ⅱa 博士論文研究Ⅱb
専	准教授	俵山 雄司 ＜平成29年4月＞ 博士(言語学) 博士論文研究Ⅶa 博士論文研究Ⅶb
専	准教授	佐藤 弘毅 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 博士論文研究Ⅴa 博士論文研究Ⅴb
専	准教授	布施 哲 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (英) 博士論文研究a 博士論文研究b 哲学・倫理学総合演習Ⅰ 哲学・倫理学総合演習Ⅱ
専	准教授	吉武 純夫 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 哲学・倫理学総合演習Ⅰ 哲学・倫理学総合演習Ⅱ 博士論文研究a 博士論文研究b 西洋古典学総合演習
専	准教授	歌部 俊也 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 博士論文研究a 博士論文研究b 博士論文研究Ⅱ
専	准教授	林 謙一郎 ＜平成29年4月＞ 博士(歴史学)(中) 博士論文研究a 博士論文研究b 博士論文研究a 博士論文研究b 博士論文研究a 博士論文研究b
専	准教授	加納 修 ＜平成29年4月＞ 博士(歴史学) 博士論文研究a 博士論文研究b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	林 誠 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (米) 博士論文研究Ⅱa 博士論文研究Ⅱb
専	准教授	村尾 玲美 ＜平成29年4月＞ 博士(学術) 博士論文研究Ⅰa 博士論文研究Ⅰb
専	准教授	三輪 晃司 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (加) 博士論文研究Ⅶa 博士論文研究Ⅶb
専	准教授	石崎 俊子 ＜平成29年4月＞ 修士(教育学) 博士論文研究Ⅵa 博士論文研究Ⅵb
専	准教授	李 澤熊 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 博士論文研究Ⅱa 博士論文研究Ⅱb
専	准教授	俵山 雄司 ＜平成29年4月＞ 博士(言語学) 博士論文研究Ⅶa 博士論文研究Ⅶb
専	准教授	佐藤 弘毅 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 博士論文研究Ⅴa 博士論文研究Ⅴb
専	准教授	布施 哲 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (英) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	准教授	吉武 純夫 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 博士論文研究a 博士論文研究b 西洋古典学総合演習
専	准教授	林 謙一郎 ＜平成29年4月＞ 博士(歴史学)(中) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	加納 修 ＜平成29年4月＞ 博士(歴史学) 博士論文研究a 博士論文研究b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	林 誠 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (米) 博士論文研究Ⅱa 博士論文研究Ⅱb
専	准教授	村尾 玲美 ＜平成29年4月＞ 博士(学術) 博士論文研究Ⅰa 博士論文研究Ⅰb
専	准教授	三輪 晃司 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (加) 博士論文研究Ⅶa 博士論文研究Ⅶb
専	准教授	石崎 俊子 ＜平成29年4月＞ 修士(教育学) 博士論文研究Ⅵa 博士論文研究Ⅵb
専	准教授	李 澤熊 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 博士論文研究Ⅱa 博士論文研究Ⅱb
専	准教授	俵山 雄司 ＜平成29年4月＞ 博士(言語学) 博士論文研究Ⅶa 博士論文研究Ⅶb
専	准教授	佐藤 弘毅 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 博士論文研究Ⅴa 博士論文研究Ⅴb
専	准教授	布施 哲 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (英) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	准教授	吉武 純夫 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 博士論文研究a 博士論文研究b 西洋古典学総合演習
専	准教授	林 謙一郎 ＜平成29年4月＞ 博士(歴史学)(中) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	加納 修 ＜平成29年4月＞ 博士(歴史学) 博士論文研究a 博士論文研究b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	林 誠 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (米) 博士論文研究Ⅱa 博士論文研究Ⅱb
専	准教授	村尾 玲美 ＜平成29年4月＞ 博士(学術) 博士論文研究Ⅰa 博士論文研究Ⅰb
専	准教授	三輪 晃司 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (加) 博士論文研究Ⅶa 博士論文研究Ⅶb
専	准教授	石崎 俊子 ＜平成29年4月＞ 修士(教育学) 博士論文研究Ⅵa 博士論文研究Ⅵb
専	准教授	李 澤熊 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 博士論文研究Ⅱa 博士論文研究Ⅱb
専	准教授	俵山 雄司 ＜平成29年4月＞ 博士(言語学) 博士論文研究Ⅶa 博士論文研究Ⅶb
専	准教授	佐藤 弘毅 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 博士論文研究Ⅴa 博士論文研究Ⅴb
専	准教授	布施 哲 ＜平成29年4月＞ Ph.D. (英) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	准教授	吉武 純夫 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 博士論文研究a 博士論文研究b 西洋古典学総合演習
専	准教授	林 謙一郎 ＜平成29年4月＞ 博士(歴史学)(中) 博士論文研究a 博士論文研究b
専	教授	加納 修 ＜平成29年4月＞ 博士(歴史学) 博士論文研究a 博士論文研究b

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		鳥山 定嗣
専	准教授	<平成31年4月> 博士(文学)(仏)
		博士論文研究Ⅱa
		博士論文研究Ⅱb

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

平成28年11月 幹部俊也准教授死亡退職のため担当教員変更
平成29年1月 加納修准教授が教授に昇格
平成29年3月 町田健教授就任辞退（担当科目には複数の担当教員が配置されており支障はない。）
教育内容の充実のため担当科目変更（近本准教授、馬准教授）
教育内容の充実のため教員追加（藤村教授、神塚教授、和田教授）
担当教員の変更（阿部教授、佐々木教授、藤木教授、小栗栖教授、田村教授、池内教授、古尾谷教授、近本准教授、東准教授、小川准教授、加藤（請）准教授、布施准教授、吉武准教授、梶原准教授）
担当科目調整のため担当科目変更（宮原教授、羽賀教授、池内教授、古尾谷教授、齋藤教授、星野教授、松下教授、林准教授、東准教授、小川准教授、HOPSON准教授、金准教授、古田准教授）

【平成30年度】

永澤清講師の職位を准教授に変更
梶山洋介教授退職のため浮葉教授に担当教員を変更
田村均教授定年退職のため鈴木准教授に担当教員を変更
神塚淑子教授定年退職のため吉田教授に担当教員を変更
羽賀祥二教授定年退職のため池内教授、河西准教授に担当教員を変更
平成30年4月 鈴木真准教授就任
平成30年4月 岩崎陽一准教授就任
平成30年4月 北村陽子准教授就任
平成30年10月 河西秀哉准教授就任予定
担当教員の変更（和田教授、池内教授、藤村教授、吉田教授、奥田准教授、鈴木准教授、岩崎准教授、北村准教授、近本准教授、河西准教授）

【令和元年度】

林誠准教授の職位を教授に変更
松澤和宏定年教授退職のため小栗栖教授に担当教員を変更
藤村逸子定年教授退職のため鳥山准教授に担当教員を変更
阿部泰郎定年教授退職のため近本准教授に担当教員を変更
衣川隆生教授退職のため浮葉教授に担当教員を変更
田所光男教授退職のため西村准教授に担当教員を変更
陳朝輝准教授退職のため丸尾教授に担当教員を変更
平成30年10月 許明子教授就任
平成30年10月 河西秀哉准教授就任
平成31年4月 土屋洋准教授就任
平成31年4月 鳥山定嗣准教授就任
担当教員の変更（小栗栖教授、池内教授、松下教授、星野教授、奥田准教授、河西准教授）

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は、「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
16 名	11 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
64	45	1	7	117	53	47	0	6	106
(60)	(44)	(1)	(7)	(112)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
110	7	0			100	6	0		
(105)	(7)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
53	47	0	6	106	53	47	0	6	106
[Δ11]	[2]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ11]	[Δ11]	[2]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ11]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
100	6	0			100	6	0		
[Δ10]	[Δ1]	[0]			[Δ10]	[Δ1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要受済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{106}{117} = \boxed{90.59} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{106} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	町田 健	H29. 3	選択	博士論文研究a	①	平成29年3月退職のため就任辞退（29）			
				選択	博士論文研究b	①				
2	准教授	畠部 俊也	H28. 11	選択	博士論文研究a	①	平成28年11月退職のため就任辞退（29）			
				選択	博士論文研究b	①				
				選択	博士論文研究Ⅱ	①				
3	准教授	HOPSON Nathan edwin	H29. 4	選択	日本史学特別研究Ⅱa	①	担当科目を調整し、教授が担当することとしたため（29）			
				選択	日本史学特別研究Ⅱb	①				
				選択	日本史学特別研究Ⅳa	①				
				選択	日本史学特別研究Ⅳb	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	9	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	靱山 洋介	H29. 3	選択	博士論文研究Ⅰa	①	平成30年3月31日他大学転出のため辞任（30）			
				選択	博士論文研究Ⅰb	①				
2	教授	衣川 隆生	H31. 3	選択	博士論文研究Ⅳa	①	平成31年3月31日他大学転出のため辞任（元）			
				選択	博士論文研究Ⅳb	①				
3	教授	田所 光男	H31. 3	選択	博士論文研究Ⅰa	①	平成31年3月32日他大学転出のため辞任（元）			
				選択	博士論文研究Ⅰb	①				
4	准教授	陳 朝輝	H31. 3	選択	博士論文研究Ⅵa	①	平成31年3月33日他大学転出のため辞任（元）			
				選択	博士論文研究Ⅵb	①				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
7	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③合計(D)+(F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{7}{117} = 5.98\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	田村 均	選択	博士論文研究a	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)	
			選択	博士論文研究b	①		
2	教授	神塚 淑子	選択	博士論文研究a	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)	
			選択	博士論文研究b	①		
3	教授	羽賀 祥二	選択	博士論文研究a	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)	
			選択	博士論文研究b	①		
			選択	日本史学特別研究IVa	①		
4	教授	松澤 和宏	選択	博士論文研究 I a	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)	
			選択	博士論文研究 I b	①		
5	教授	阿部 泰郎	選択	比較人文学総合演習	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)	
6	教授	藤村 逸子	選択	博士論文研究 II a	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)	
			選択	博士論文研究 II b	①		
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
6	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	13 科目	選択	13 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>大学の所見 定年退職教員等が担当する科目については、当該教員と同様の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はないと考えている。</p> <p>学生への周知方法 専任教員が交代した研究室において、関係する学生に個別に周知し、電子シラバス等でも併せて周知している。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学研究科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

(1) 運営委員会
研究科長を委員長とし、評議員、副研究科長及び各コース長から構成

(2) 教務委員会
副研究科長及び各コースから選出された委員から構成

(3) 計画評価委員会
研究科長を委員長とし、評議員、副研究科長、各コース長及び研究科内主要委員会の委員長で構成

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 運営委員会
月1回開催するとともに、必要に応じて臨時の委員会を開催した。

(2) 教務委員会
月1回開催するとともに、必要に応じて臨時の委員会を開催した。

(3) 計画評価委員会
各学期の初めと終わりに1回ずつ開催した。

c 委員会の審議事項等

(1) 運営委員会
研究科の教育研究に係る運営方針を協議し、委員会の下に設けた教育研究推進室でFD活動の企画を行った。

(2) 教務委員会
教育カリキュラムの実施に係る事項を管掌し、授業評価アンケートを実施するとともに、授業の実施や授業評価に関するFD活動を教育研究推進室と共同で企画した。

(3) 計画評価委員会
研究科の教育研究に係る計画を策定し、その実施状況を評価した。

② 実施状況

a 実施内容

- ・教育研究上の課題に関するFDを実施（教務委員会が教育研究推進室と共同で企画）。
- ・教育研究に係る計画の策定に向けた教員懇談会を開催（計画評価委員会が企画）。

b 実施方法

多数の教員の参加が見込める日時、特に、教授会開催日あるいはその翌週の同一時間帯に実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・講師以上の全教員を対象にしたFD（4回実施）には、対象となる教員の約8割が参加した。
- ・講師以上の全教員を対象にした教員懇談会（7回実施）には、対象となる教員の約3分の2が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FDや教員懇談会で教員から出た意見等を教育研究推進室が取りまとめて、授業改善に向けた提案を行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期末に、すべての授業について所定の様式による授業評価アンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果を教育研究推進室が集約し、授業改善を目指したFD等を通して教員間で共有した。アンケート結果や工夫点、改善点を学生に公開する方法について、教育研究推進室を中心に検討を進めた。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

研究科の発足から二年が経過し、学生定員の充足に関しては厳しい状況が続いているが、これまでのところ、カリキュラムの変更を迫られる状況にはなく、設置後に向けて予定されていた人事もほぼ予定通り実現していて、全体としては設置の趣旨・目的が当初の見込み通り達成できている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 2019年6月1日 公表予定

b 公表方法

・ 部局のwebサイトで公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・ 2021年度に評価機関（大学評価・学位授与機構）の評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。